

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立日根野小学校 第6学年，全児童
実施児童数（152人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成 26 年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A 区分問題」

- ・昨年度の平均正答率より上回っているが、全国平均正答率も上回っており、問題がやや容易であったことが考えられる。平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて下位層が少なく上位層が多くなっている。

平均正答率（本校 79.5／泉佐野市 70.3／大阪府 70.7／全国 72.9）

「B 区分問題」

- ・全国平均より 6 ポイント上回っており、昨年度と比べて良い傾向である。平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が多くなっている。

平均正答率（本校 61.5／泉佐野市 51.9／大阪府 52.6／全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話し合いの観点に基づいて情報を観点づけることは概ねできている。</p> <p>7 話し合いの記録の仕方として適切なものを選択する。</p> <p style="text-align: right;">(80.9/72.4)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○仮定の表現として、適切なものを捉えることは概ねできている。</p> <p>6 二 文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する。</p> <p style="text-align: right;">(87.5/83.1)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○物語の登場人物の相互関係を捉えることにやや課題がある。</p> <p>5 物語の一部に入る適切な人物の名前を書く。</p> <p style="text-align: right;">(69.7/65.3)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと・書くことは概ねできている。</p> <p>1 一（1）道路の標識（→ひょうしき）(97.4/91.7)</p> <p>1 一（2）街灯がつく（→がいとう）(94.1/87.0)</p> <p>1 二（1）さらを運ぶ（→皿）(98.01/97.8)</p> <p>1 二（2）勝利をいわう（→祝）(81.6/59.3)</p> <p>1 二（3）かぜをよぼうする（→予防）(88.8/77.4)</p> <p>○故事成語の意味と使い方を理解することにやや課題がある。</p> <p>2 一（1） 五十歩百歩 (55.3/55.8)</p> <p>2 一（2） 百聞は一見にしかず (50.0/49.9)</p>

国語 B	特 徴 が み ら れ た 設 問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○立場を明確にして、質問や意見を述べることに課題がある。</p> <p>1 三 大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く。</p> <p style="text-align: right;">(25.0/28.3)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○分かったことや疑問に思ったことを整理し、それを関係づけながらまとめて書くことにやや課題がある。</p> <p>2 二 付箋の内容を関係づけて、野口さんのまとめを書く。</p> <p style="text-align: right;">(41.4/26.9)</p> <p>○二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くことにやや課題がある。</p> <p>3 三 【詩 1】と【詩 2】を比べて読んで考えたことを書く。</p> <p style="text-align: right;">(50.0/48.1)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○詩の解釈における着眼点の違いを捉えることにやや課題がある。</p> <p>3 二 【詩 2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する。</p> <p style="text-align: right;">(52.0/48.5)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	57.9	59.2		1.3
国語の勉強は大切だと思いますか	92.1	91.8		0.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	87.5	80.1	◇	7.4
読書は好きですか	75.0	73.0		2.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.1	87.4		2.7
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	49.4	61.4	○	12.0
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	52.7	58.5	◇	5.8
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	72.3	70.7		1.6
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	78.3	75.8		2.5
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか （「最後まで解答を書こうと努力した」の割合）	78.9	76.1		2.8

○「国語の勉強は好きです」と感じている児童の割合がかなり低く、また全国と比べて低いことは課題である。

○「国語の授業の内容がよく分かる」児童の割合が全国よりもかなり高い。

○「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」児童が90%以上いる。

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」の設問に対して全国と比べて低いことは課題である。

○「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」の設問に対して「最後まで解答を書こうと努力した」児童が約79%いる。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・全国平均、大阪府平均を大きく上回っている。平均正答数の全体的な分布状況は、国と比べ上位層が多く分布している。

平均正答率（本校 85.0／泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」

- ・全国平均、大阪府平均を大きく上回っている。平均正答数の全体的な分布状況は、国と比べ上位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 64.5／泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○繰り下がりのある加法の計算をすることは概ねできている。 1（1） $46 + 57$ を計算する。（98.7/96.9） ○被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることは概ねできている。 1（2） 903×6 を計算する。（94.1/92.8） ○小数第1位までの減法の計算をすることは概ねできている。 1（3） $9 - 0.8$ を計算する。（95.4/83.8） ○商が小数になる除法の計算をすることは概ねできている。 1（4） $2 \div 5$ を計算することができる。（96.1/91.8） ○異分母の分数の加法の計算をすることは概ねできる。 1（6） $1/3 + 2/5$ を計算することができる。（96.1/90.6）	○割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解することにやや課題がある。 2（2）示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ（80cm）の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ。（62.5/54.1） 【量と測定】 ○単位量あたりの大きさの求め方を理解することにやや課題がある。 4（2） 8 m^2 に16人いるAの部屋について、 1 m^2 あたりの人数を求める式を書く。（67.1/60.8） 【図形】 ○作図に用いられている図形の約束や性質を理解することにやや課題がある。 6コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。（57.2/52.0）

算数B	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○示された場面から計算の結果の見通しをもち、（2位数）×（1位数）の筆算をすることは概ねできている。 1（1）示されたかけ算の中で積に同じ数が並ぶものを選ぶ。（97.4/94.6） ○示された情報を解釈し、1.5倍の長さを示している図を選択することに課題がある。 5（2）使いやすい箸の長さの目安を基に、一あたりの長さを表している図を選ぶ。（48.7/46.1） 【量と測定】 ○示された情報を基に、条件に合う時間を求めることにやや課題がある。 3（1）昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいか書く。（41.4/38.6）	○示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。 3（3）示された分け方でスープを分けるとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。（34.2/30.6） 【数量関係】 ○繰り返されるリズムの規則性（周期）を見だし、それを基に小節数を求めることにやや課題がある。 4（1）㊦のリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く。（57.9/62.2） ○示された情報を整理し、筋道を立てて考え、少数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。 5（3）妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方を書く。（40.8/33.0）

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	76.3	66.1	○	10.2
算数の勉強は大切だと思いますか	92.8	92.3		0.5
算数の授業の内容はよく分かりますか	87.5	79.6	◇	7.9
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	79.6	77.3		2.3
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	85.6	78.1	◇	7.5
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	71.0	66.3		4.7
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	90.1	89.0		1.1
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか	81.6	79.4		2.2
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	88.2	81.3	◇	6.9
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか	90.8	83.4	◇	7.4
今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	90.1	79.7	○	10.4

○上記の全ての設問において、全国より高かった。

○「算数の勉強は好きです」と答えている児童の割合が全国よりもかなり高い。

○「算数の授業の内容はよく分かる」と答えている児童の割合が全国よりもかなり高い。

○「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」児童が約85%おり、全国よりもかなり高い。

○「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」児童が90%以上で、全国よりもかなり高い。

○「今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」の設問に対して「最後まで解答を書こうと努力した」児童が90%以上で、全国よりもかなり高い。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本 校 < 本 校 回 答 率 / 全 国 回 答 率 >
【家庭生活の様子】	<p>○挑戦意欲は高い。</p> <p>○自己肯定感が高い。</p> <p>○読書の習慣について全国を下回っている。</p> <p>○地域の行事への参加率が低く、全国を下回っている。</p>	<p>○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか $<84.8/75.1>$</p> <p>○自分にはよいところがあると思いますか $<87.5/76.1>$</p> <p>○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか 月に1～3回程度行く $<33.6/42.9>$</p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか $<48.0/68.0>$</p>
【家庭学習の様子】	<p>○土曜日・日曜日の学習時間は全国より長い。（学習塾等含む）</p> <p>○通塾率は全国を上回っている</p>	<p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 2時間以上 $<34.9/24.0>$</p> <p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強していますか 通っていない $<43.4/52.1>$</p>
【学校での学習の様子】	<p>○学校に行くのは楽しいと思っている児童の割合が全国より高い。</p> <p>○自分の意見や考えを発表したり、友達に伝えることは得意と思う児童の割合が全国より高い。</p> <p>○「総合的な学習の時間」では、課題解決や発表などの学習活動に取り組んでいると考える児童の割合が全国より低い。</p>	<p>○学校に行くのは楽しいと思いますか $<93.5/86.6>$</p> <p>○友達の前で自分の意見や考えを発表することは得意ですか $<58.6/49.5>$</p> <p>○友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか $<84.2/74.8>$</p> <p>○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 $<52.0/63.8>$</p>

本校の取り組み

◎これまでの取り組み（昨年度、一昨年度の取り組み）

※学力・学習状況調査の結果分析から見えてきた課題に対して、各学年の課題改善への取り組みを明確化し実施していった。

【国語】

- ・文学教材に多く触れさせ登場人物の心情について考えさせる。
- ・読書の機会を確保する。また、物語やお話の読み聞かせで、多くの読み物に出会わせる。
- ・「読む」「聞く」「話す」「書く」活動の中で、順序やわけなどを意識させる。
- ・文章のまとまりに小見出しをつけたり、そのわけを考える活動を取り入れる。
- ・音読の機会をしっかりとる。
- ・低学年から語彙力を獲得させるとともに、短文づくりなどで書くことへの抵抗を少なくする。

【算数】

- ・朝学習などの時間を使い、算数の基礎基本となる九九や計算力をしっかり身につけさせる。
- ・相手に考えや工夫を説明したり発表したりする活動を増やす。
- ・大きさや数量の感覚をつかませる活動・経験をしっかりと積んでいく。（生活と結びついた活動を取り入れる。）
- ・各学年の学習内容を確実に身につけさせる。
- ・ノートの取り方を工夫させる。（なぜそうなるかななどの理由を書かせる。など）

【生活】

- ・道徳などの授業をしっかりと取り組むとともに、「相手のことを考えて行動する。」という視点で日々の指導を行う。
- ・全ての学習活動や行事において自主性を養う。
- ・自分のことを好きになれる取り組みを行う。（自己肯定感を養う。）
- ・家庭学習に関して、保護者への協力を依頼する。
- ・地域の方々と触れ合い、地域の方々に学ぶ学習を取り入れる。

◎これからの取り組み（今年度の学力・学習状況調査の結果分析から見えてきた課題に対して、課題改善へ向けての取り組みの予定）

【国語】

- ・話し合い活動の時間を増やす。その中で、質問や意見を言ったり、自分の思いを書いたりする活動を、発達段階に応じて取り組んでいく。
- ・短い文章から書く機会を増やす。また、文字数や場の設定など条件付きの作文や要約等にも取り組んでいく。
- ・意味調べや例文づくり、言葉のきまり、そして様々な熟語や故事成語など「言語の学習」を大切にしてい

【算数】

- ・具体物を使うなどして、量感を養っていく。
- ・問題から絵や図に表して、自分なりにイメージ化して解決していく学習を意識して取り入れていく。
- ・自立解決の機会を増やし、なぜそうなるのか理由を説明したり、自分の考えを表現させたりする機会を増やしていく。

【生活】

- ・自由勉強や自主学習ノートなどを活用して、復習を意識づけていく。
- ・本の面白さ、楽しさをしっかりと伝え、読書指導をさらに充実させていく。
- ・生活科で課題を立てて取り組んだり、様々な教科において調べ学習をするためのスキルを学習する。